

令和元年6月3日

## 第9回色染物質会総会 議事録

日時 : 令和元年6月2日(日) 16:00~16:40  
場所 : メルパルク京都 4階 「蔦」  
出席者 : 出席者(16名) (敬称略)  
吉岡(28)、梅本(29)、佐藤、萩原(34)、松岡(35)、山崎(37) 高木、小林、角野(47) 橋本、山本、犬伏(48) 後藤、阿久根、松本(50)、神野(57)  
委任状 : 79通

総会議事 :

1. 司会の犬伏副会長が開会宣言に引き続き出席者16名を紹介。委任状数は79名。
2. 議事に先立ち、この一年間の物故会員への黙祷を捧げた。  
物故者のお名前  
中川益男さん(S23年卒)、西川三郎さん(S28年卒)、白須勝明さん(S33年卒)  
藤井敏昭さん(S34年卒)、佐原肇さん(S37年卒)
3. 高木会長挨拶  
参加に対する謝辞に続き、「佐藤前会長からバトンを受けて3年、本年度4年目に入る。色々な考え方で進めたが、会員増強等従来の形を打破出来ずスッキリしないところがある。その中で本年度は今後の指針を作って行きたい。この総会でも色々な意見を出していただきたい」との挨拶があった。
4. 議長選出  
司会者より議長として高木会長を推薦したい旨の提案があり承認された。  
引き続き高木会長を議長に議事に入った。
5. 第1号議案 : 第8期事業報告 後藤康博副会長 資料-1  
会誌第9号 平成30年4月発行。第8回総会 懇親会 同30年6月2日 メルパルク京都にて開催。ゴルフコンペ 同30年11月5日に枚方国際で開催。新年会 平成31年1月に開催。HPは逐次更新。散策会は平成30年11月29日京都洛東の紅葉散策を実施。
6. 第2号議案 : 第8期決算報告 小林常任幹事 資料-1  
収入 前期繰越金 : 874,257円、会費 : 102名より125,000円  
KIT支援金 : 30,000円、行事参加料 : 164,000円 利息 : 4円 合計 : 1,193,261円  
支出 通信費 : 66,673円、会誌印刷費(外注) 50,360円。行事費用は、204,845円。その他交通費・HPサーバー使用料を支出。結果次期繰越金は、834,495円。
7. 第8期会計監査報告 角野会計監事 資料-1  
金銭出納簿・領収書・会費受領明細書・郵貯銀行口座残高等を監査の結果、適正に処理されていることを確認。  
  
第1号議案、第2号議案、会計監査報告は満場一致で承認された。
8. 第4号議案 : 第9期事業計画 後藤副会長 資料-2  
会誌第10号発行、総会・懇親会の実施、散策会の実施、新年会の実施、会員増強への取組、ホームページの更新 について提案。尚、続いていたゴルフコンペは今期よりKITの行事に移管。

上記の内日程が確定したのは以下の通り。

新年会 令和2年2月1日(土) 12:00～

點心茶室京都店 JR京都伊勢丹11F

第10回総会 6月7日(日) 11:00～メルパルク京都

(注) 来年の総会は、遠方よりの参加を考慮し、昼間の開催とする。また、第10回と記念になる大会なので、活性化を図るため昨年も意見の出ていた講演会を行いたい。

従って、11:00～12:00 総会

12:00～14:00 懇親会 と計画する。

9. 第5号議案：第9期予算案 小林常任幹事 資料-2

上記計画に対し、994,095円を計上 (行事参加料は含んでいない)

繰越金は約4万円減額。

尚、配布資料(会誌送付時に同封されたものと同じ資料)に数字の誤りがあり訂正された。

収入 前期繰越金 823,418 → 834,495 に訂正

計 983,018 → 994,095 に訂正

支出 次期繰越金 785,264 → 796,341 に訂正

合計 983,018 → 994,095 に訂正

(ホームページには訂正文を載せます)

第4号議案、第5号議案は満場一致で承認された。

10. その他報告 HPの状況について 犬伏副会長(広報担当)

第8期中の投稿は、

クラス会便り 8件、技術・知識 1件、歴史 2件、ゴルフコンペ報告 1件、散策会報告 1件 計13件(昨年12件)。

また、アクセス数は、累計7万件。月平均では1,300件。(役員会で報告の数字が間違えていたのでここで訂正します)9割は国内から。海外からはアメリカが1割程度。2019年5月実績で18カ国からアクセスあり。

最近アクセスが多かった記事は、「京都の史実」「堅牢染色法」「文様染の系譜」「インクジェット」等

以上で議事・報告が終了し、山崎常任幹事より本日の謝意と閉会の辞により総会は終了した。

総会終了後、参加者の吉岡さんから「アフリカンプリント京都で生まれた布物語」という本の紹介があったのでここに記載しておく。

「大同マルタ染工は嘗て300万mのアフリカンプリントを生産していたが、10年前に閉鎖され、何も残されなかった。しかし、3年後にサンプルの入ったダンボールが見つかりOB会で整理し大学や博物館に配布を行い、京都工芸繊維大学でも5年前に展示会が行われた。アフリカンプリントは最近人気が出てきているが、京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵の写真とともに、技術的にも参考となる書となっている」